



性獣へと変貌した清楚な美女達。
 発情した雌セフレとSEX三昧。

新規CG**12**枚、全CG**30**枚以上、総差分枚数**650**枚以上、
 登場キャラ**10**名、総H数**40**以上、女性フルボイス+卑語無修正

禁忌劣情
 淫らな欲望に魅せられてIII











































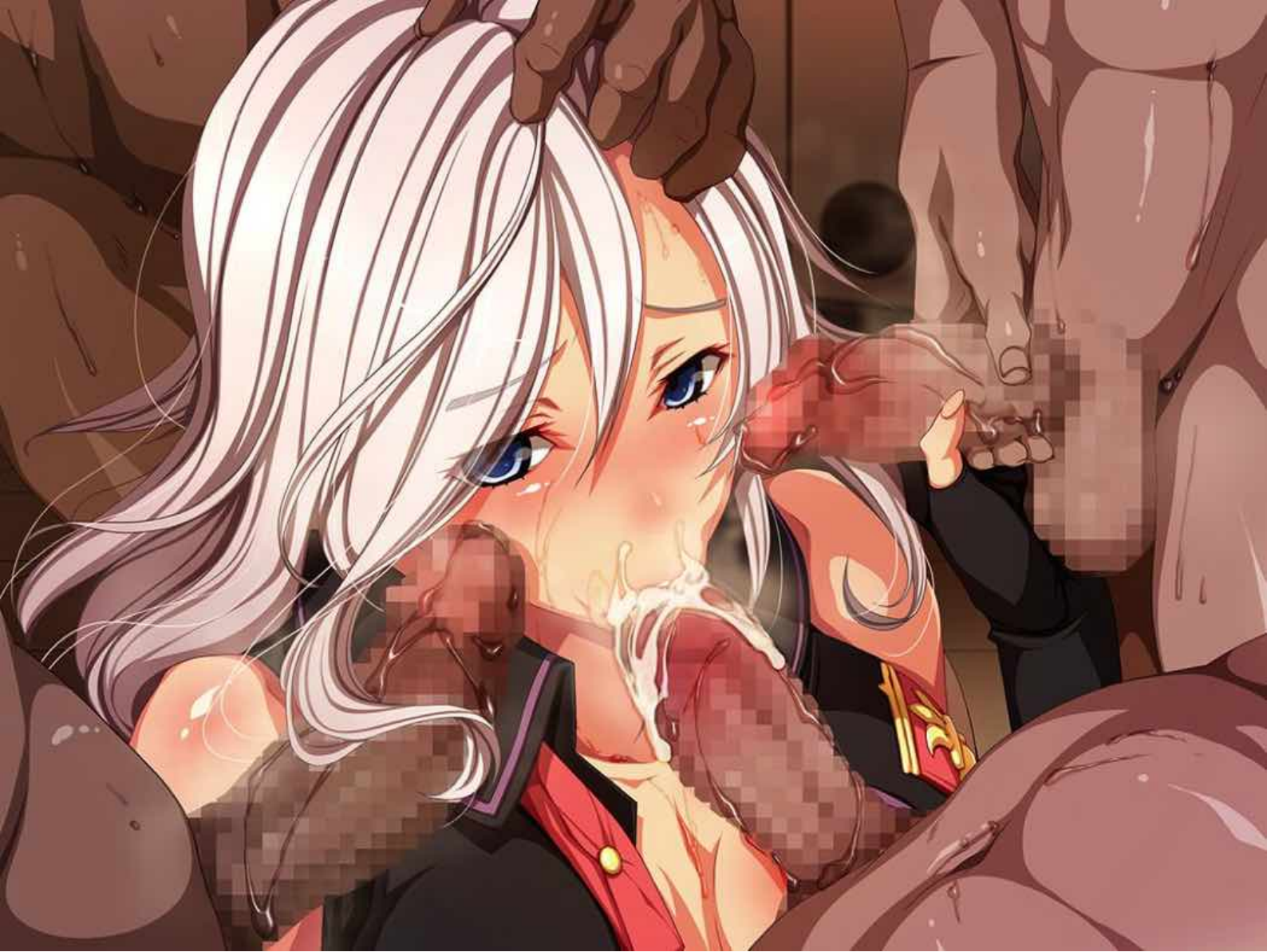










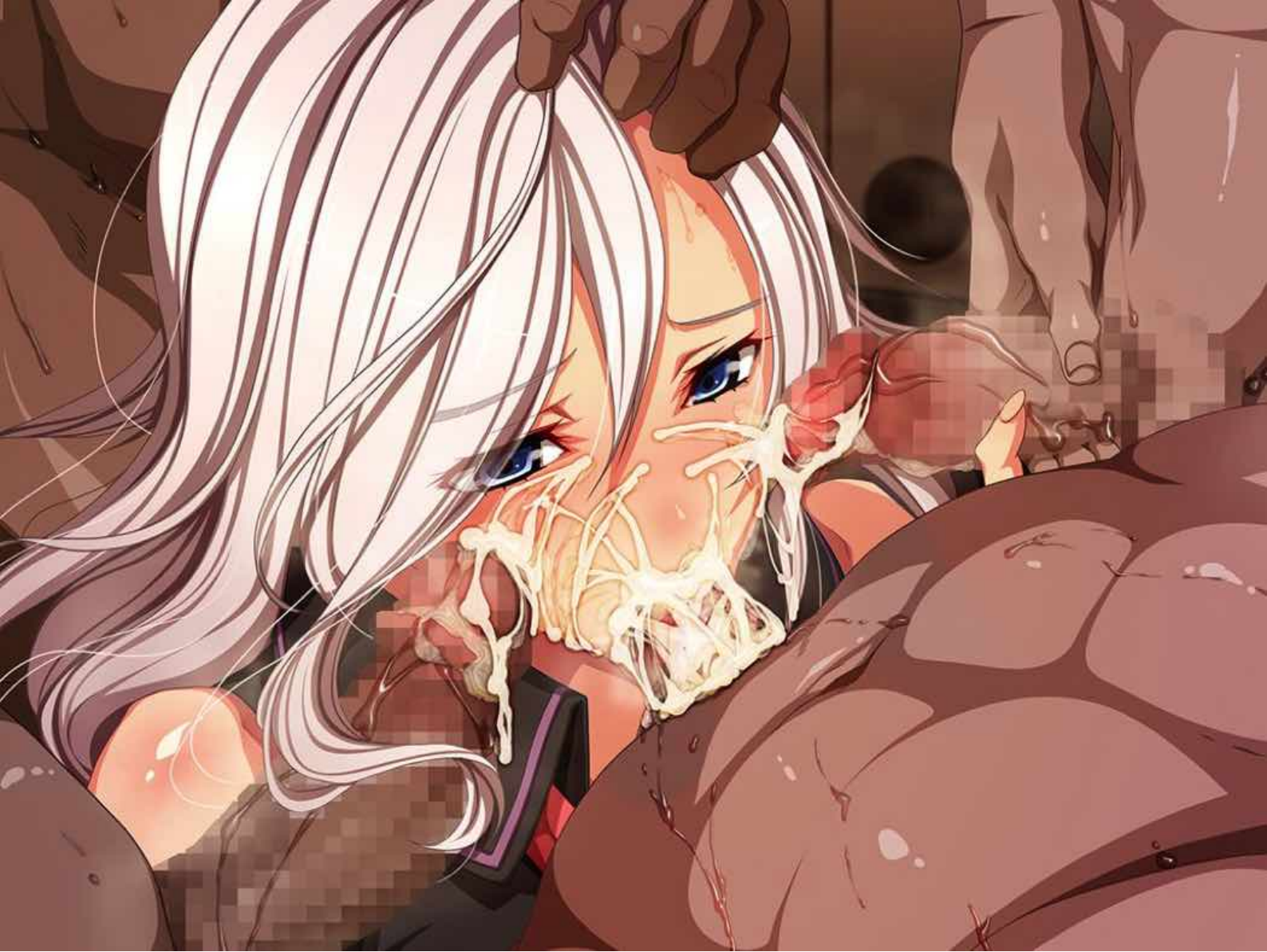




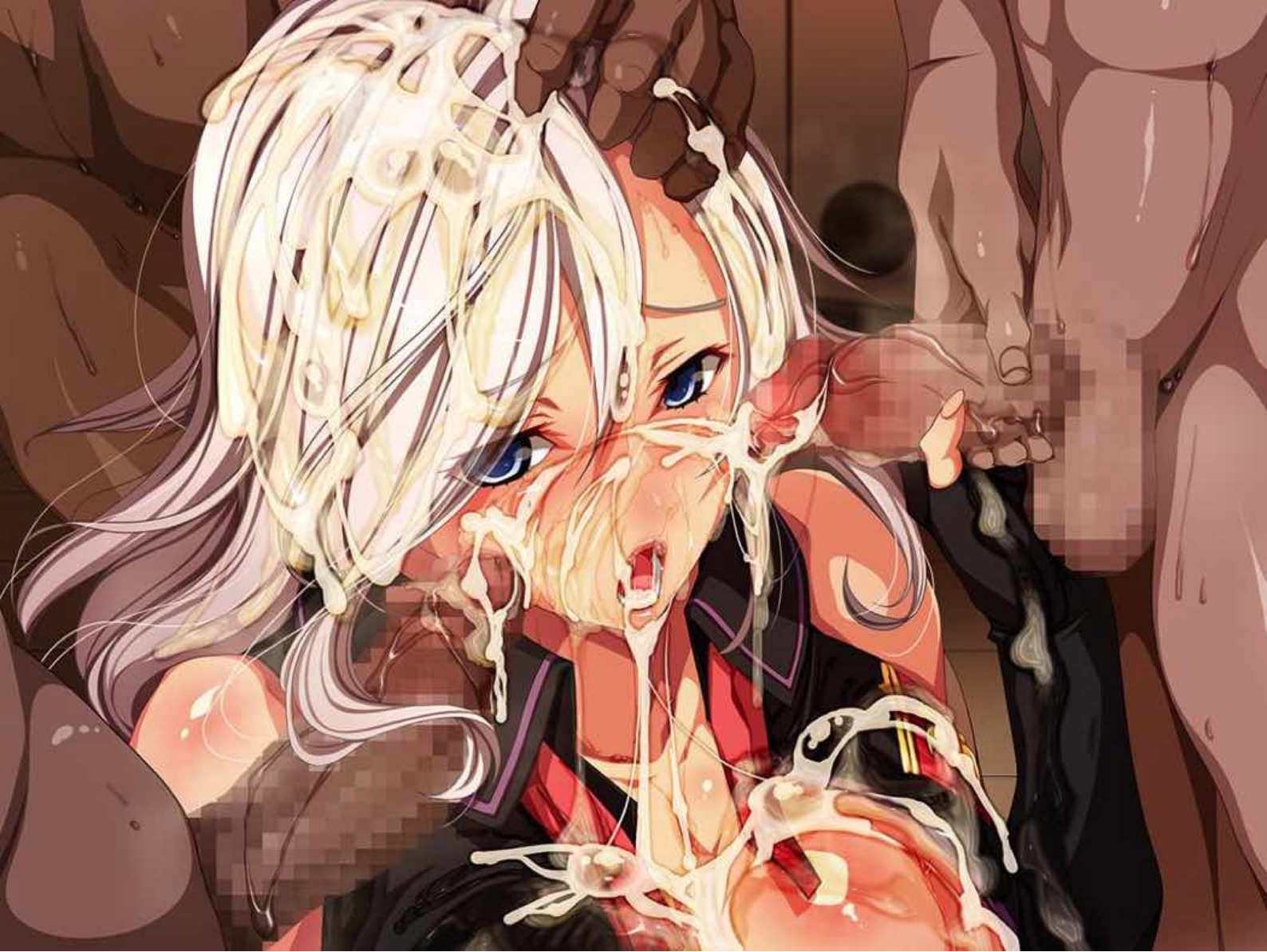


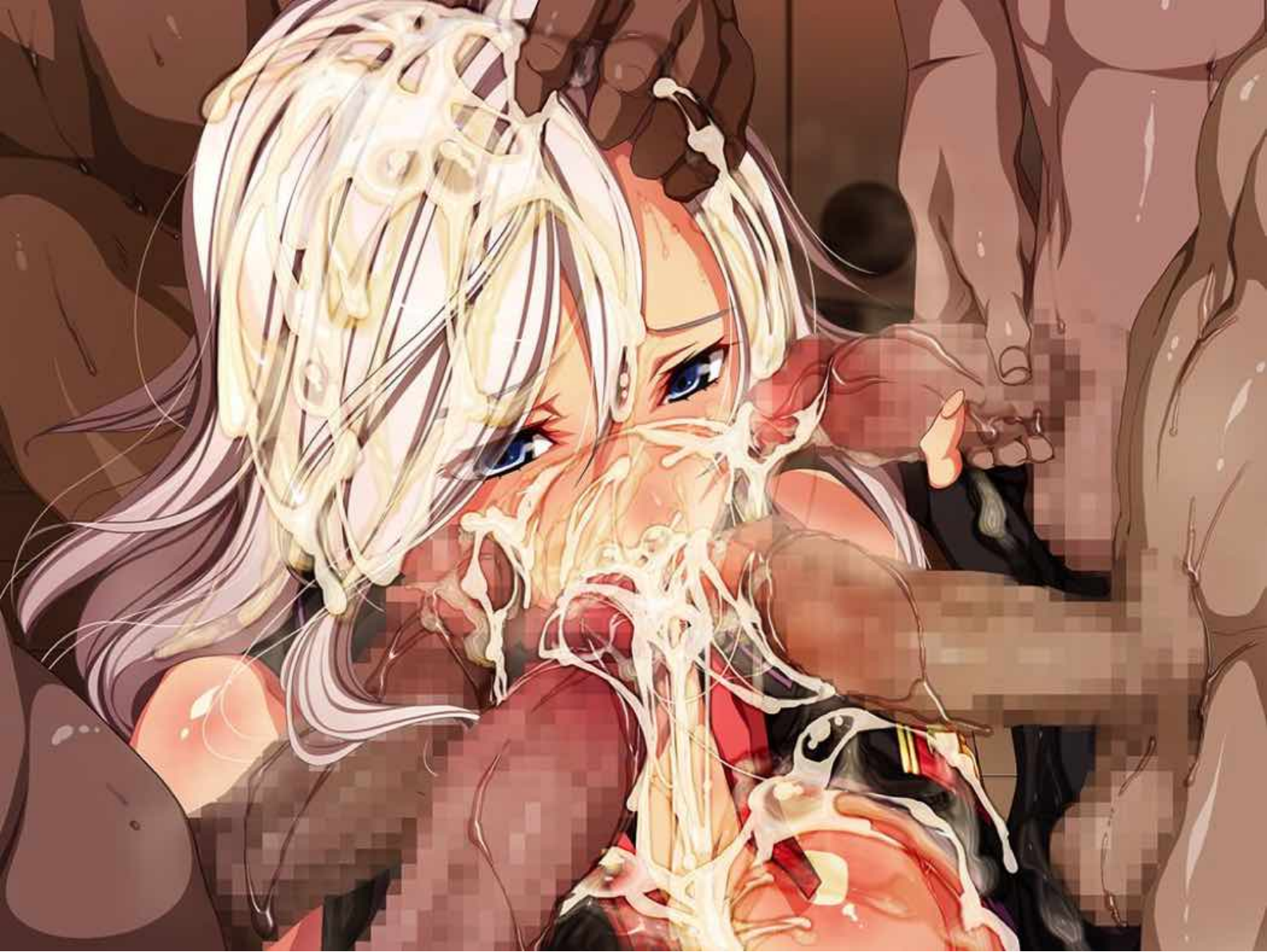






















































































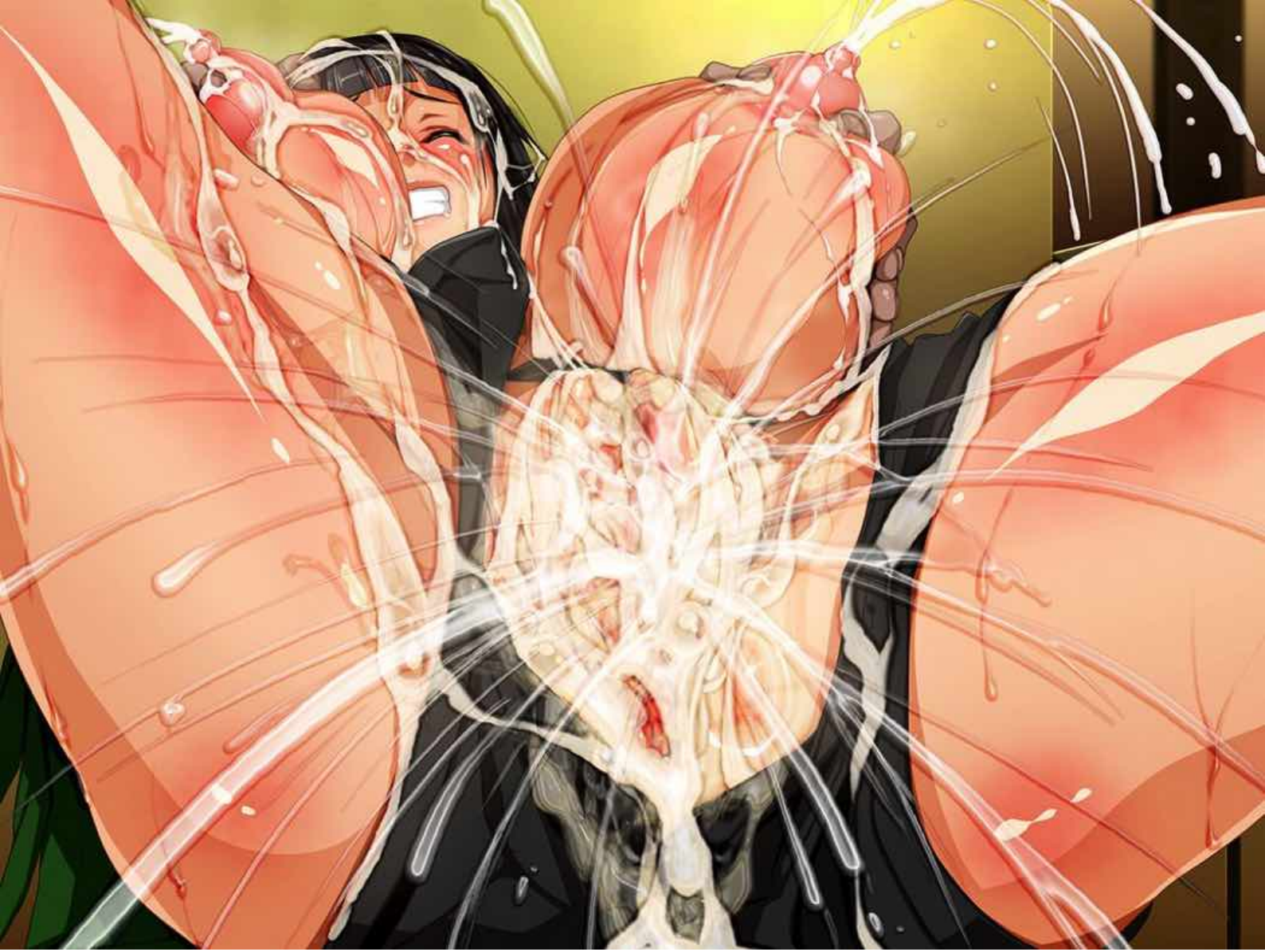
















































































































































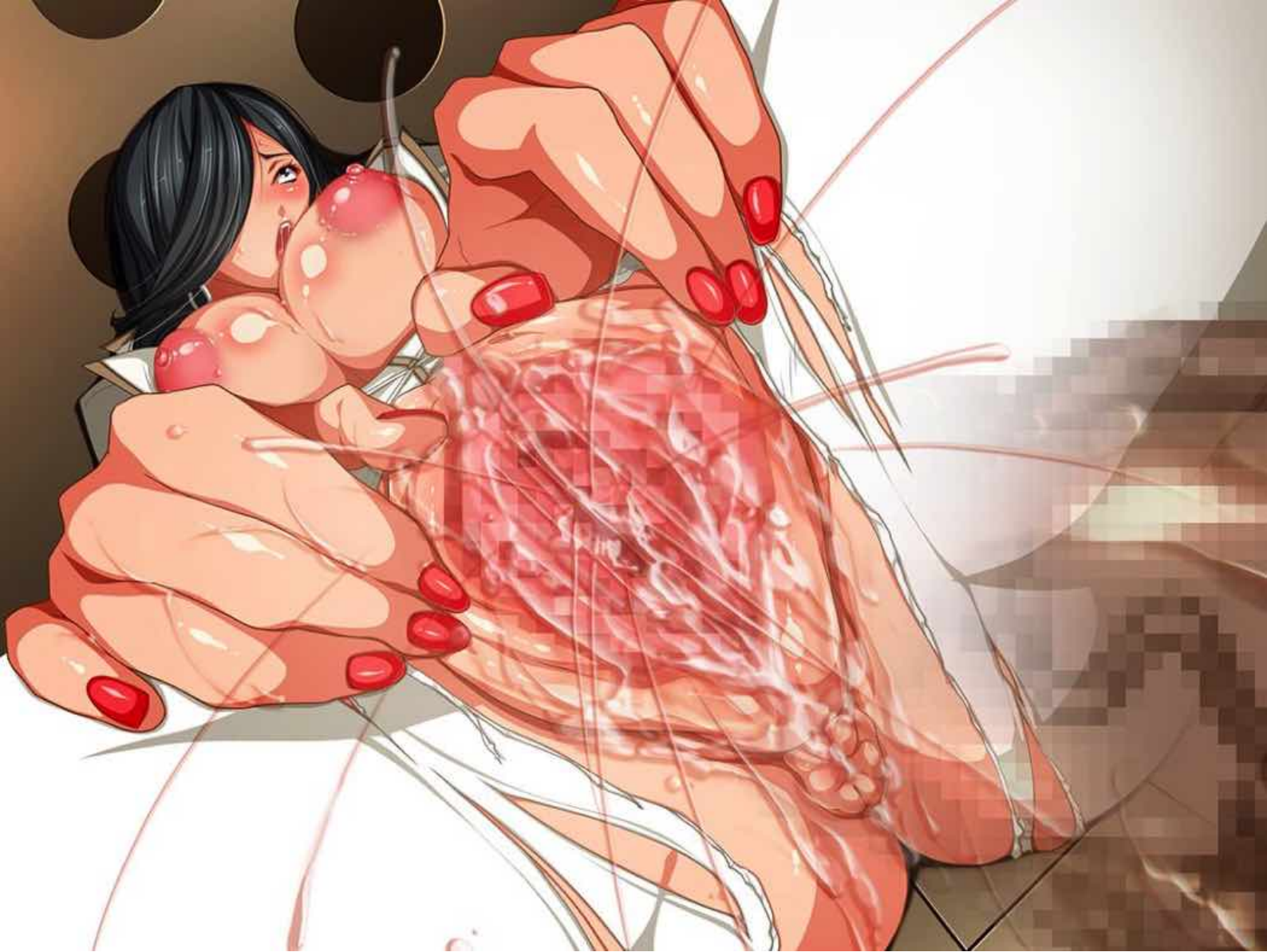
































































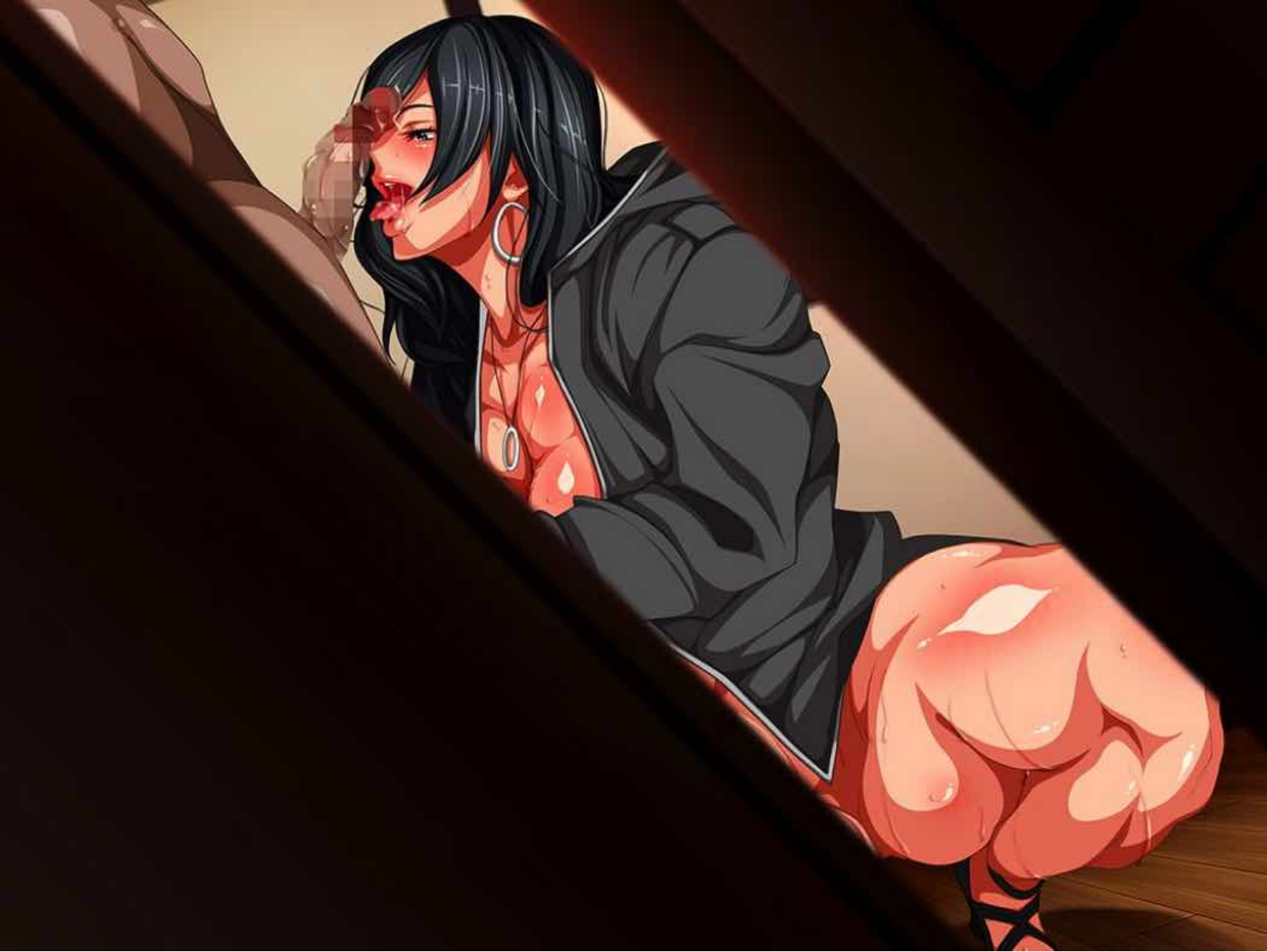


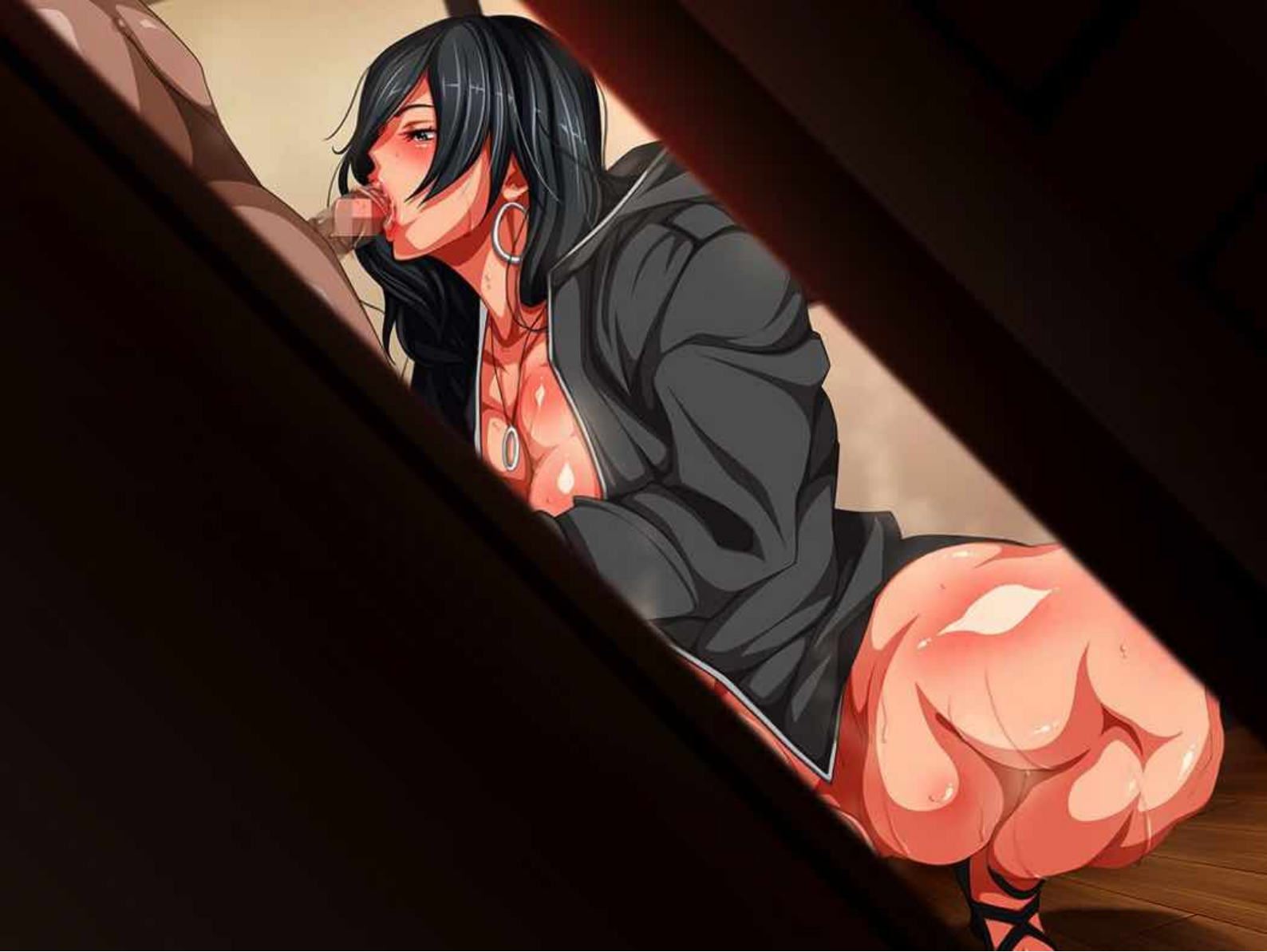


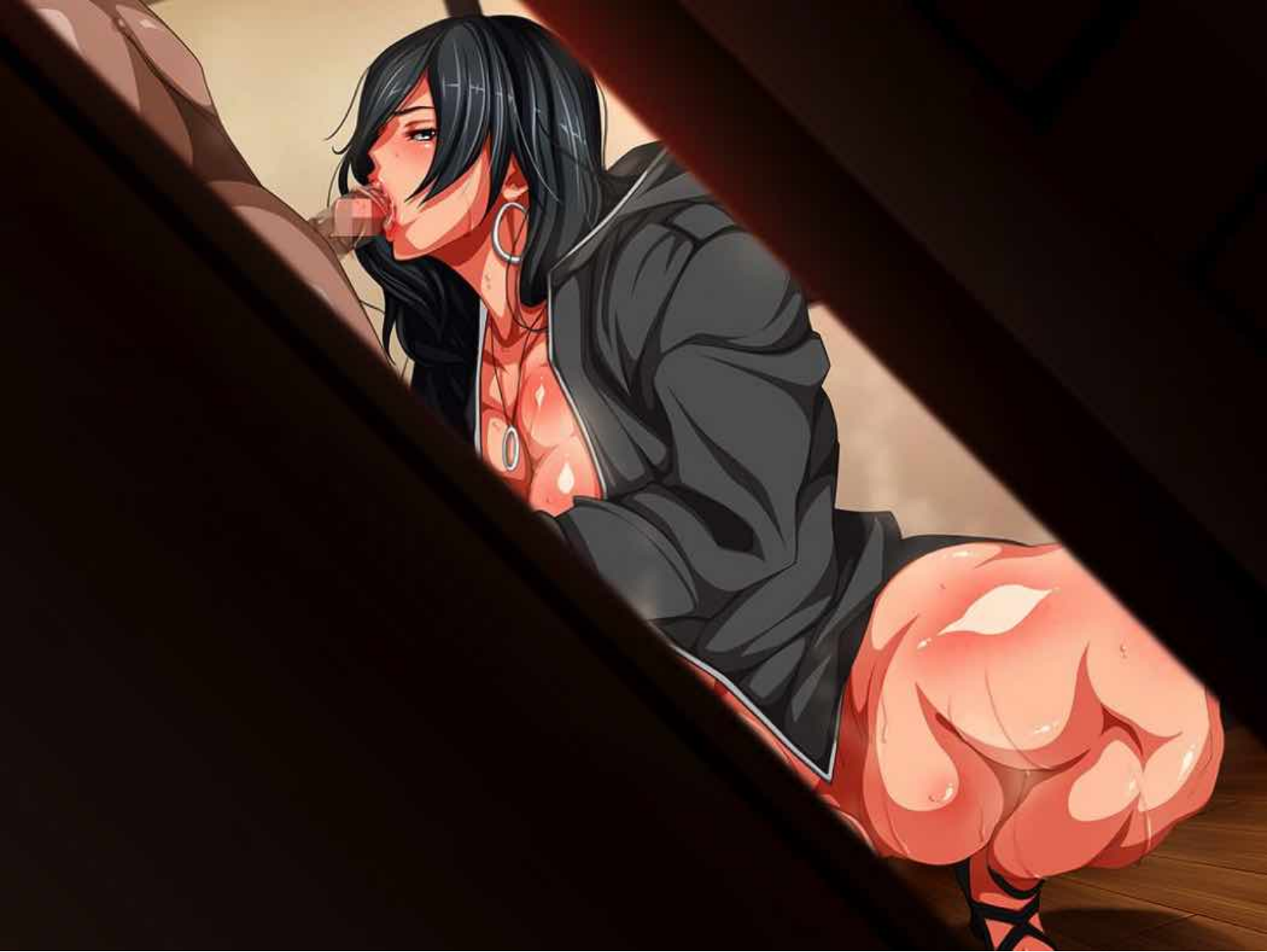




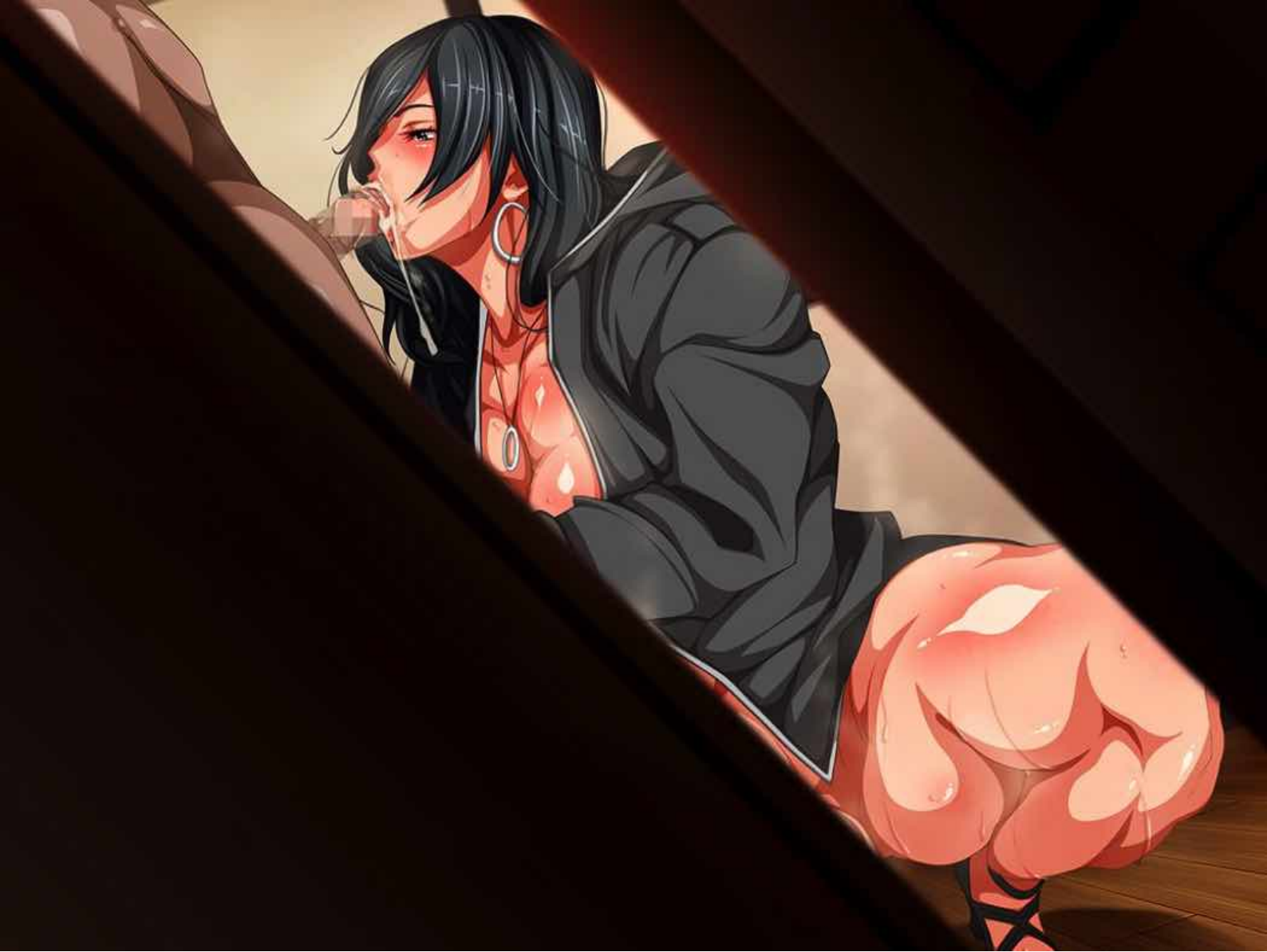










































































































































































































































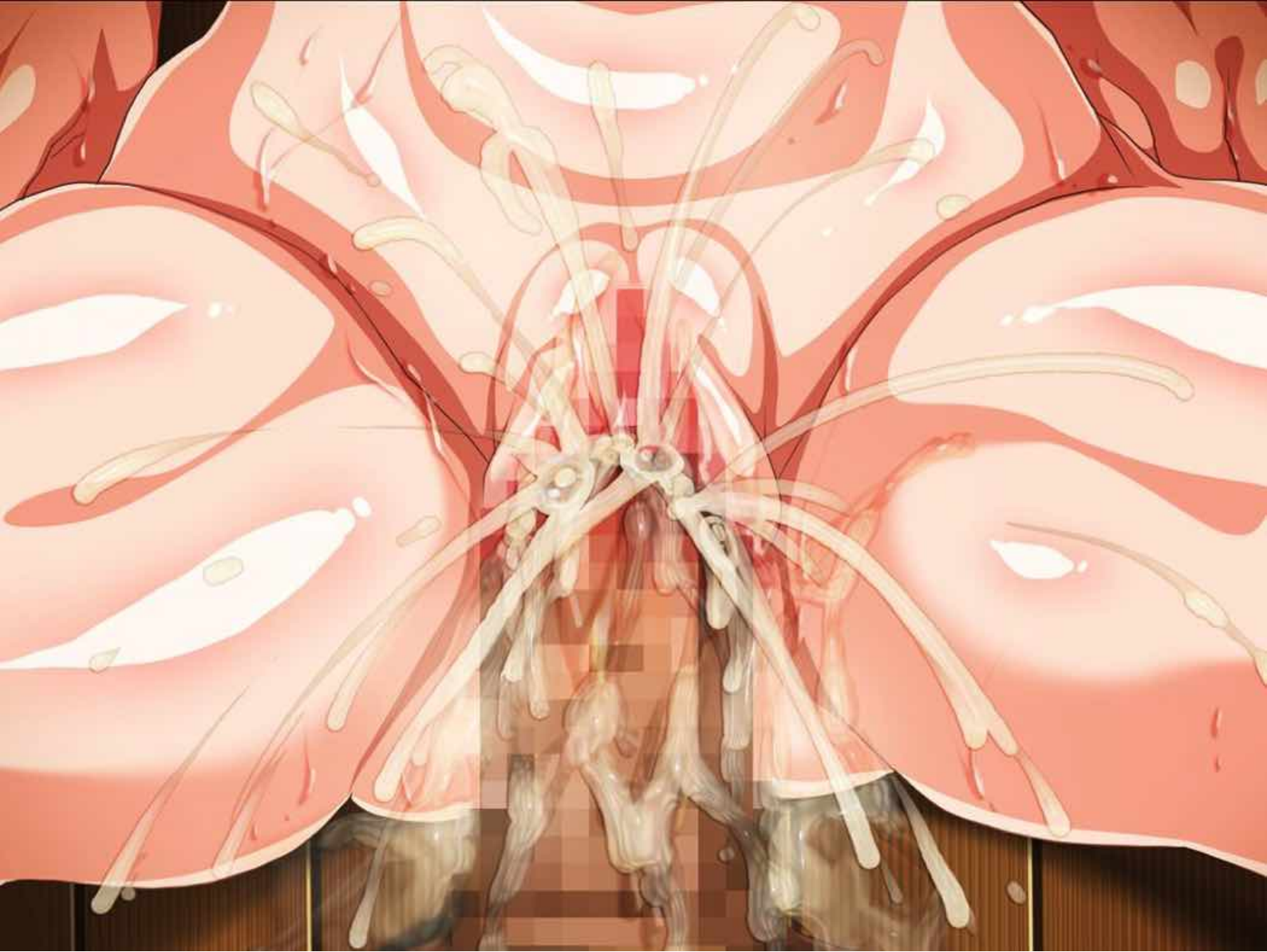






















































































































































































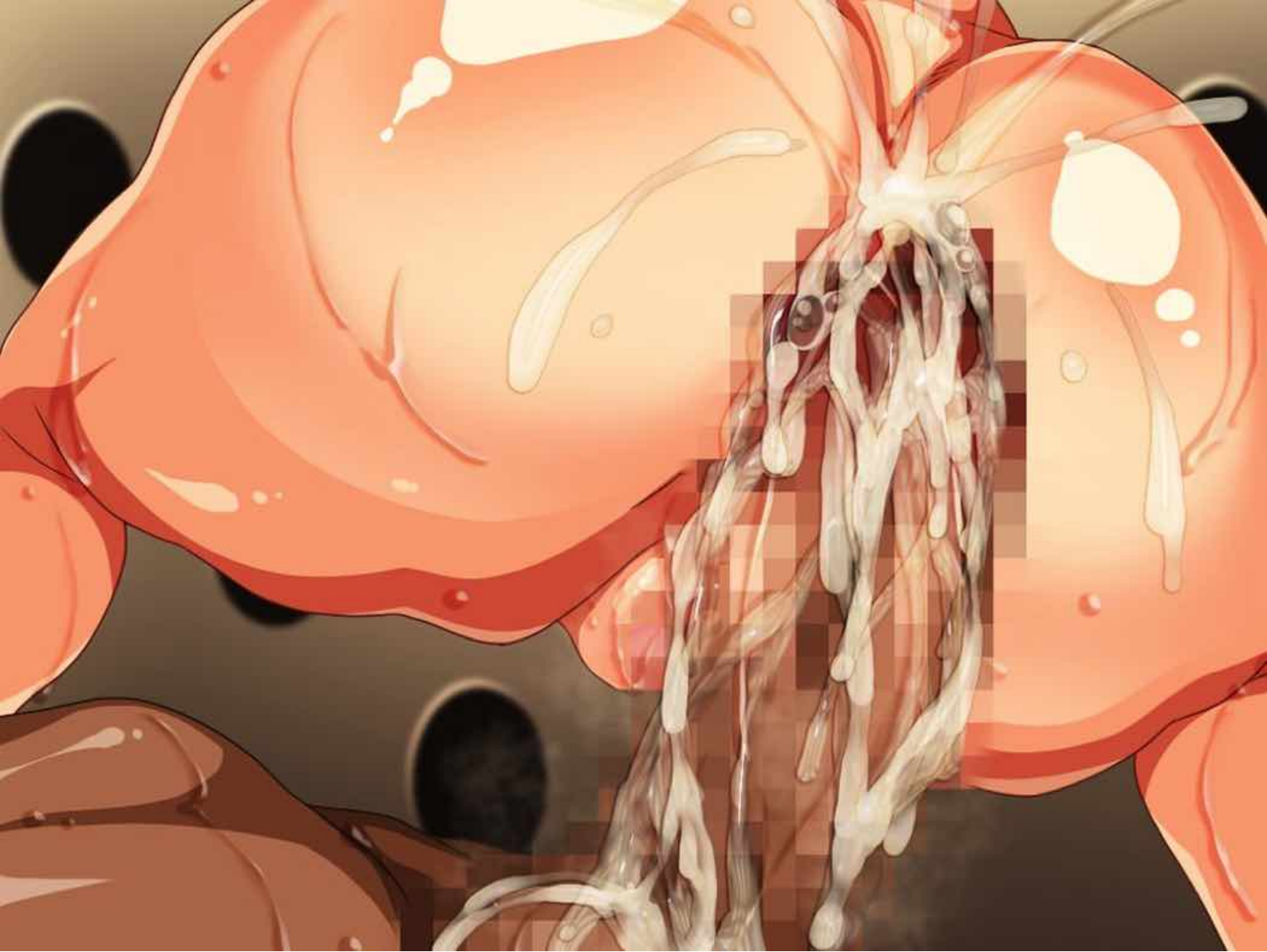






































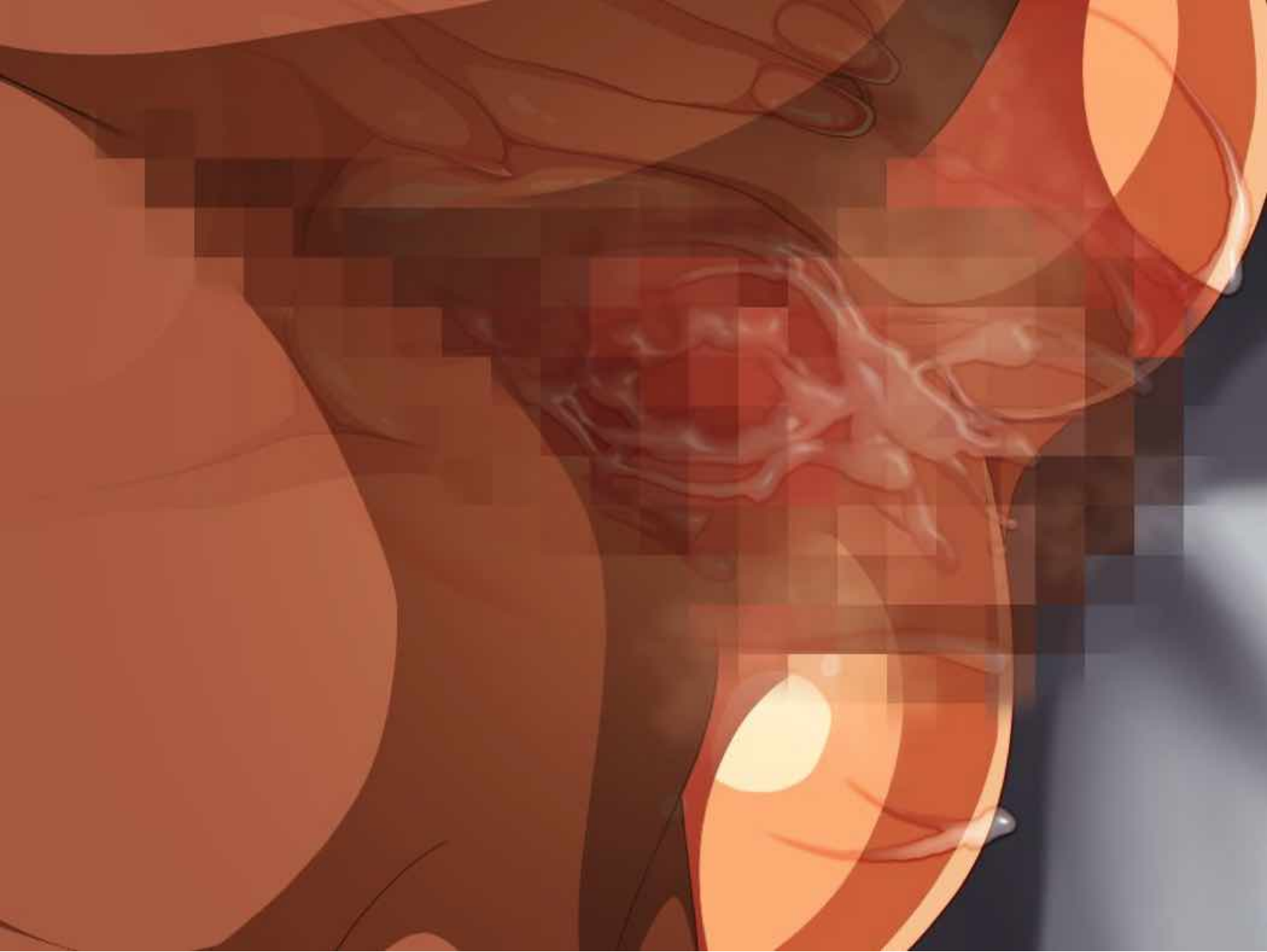






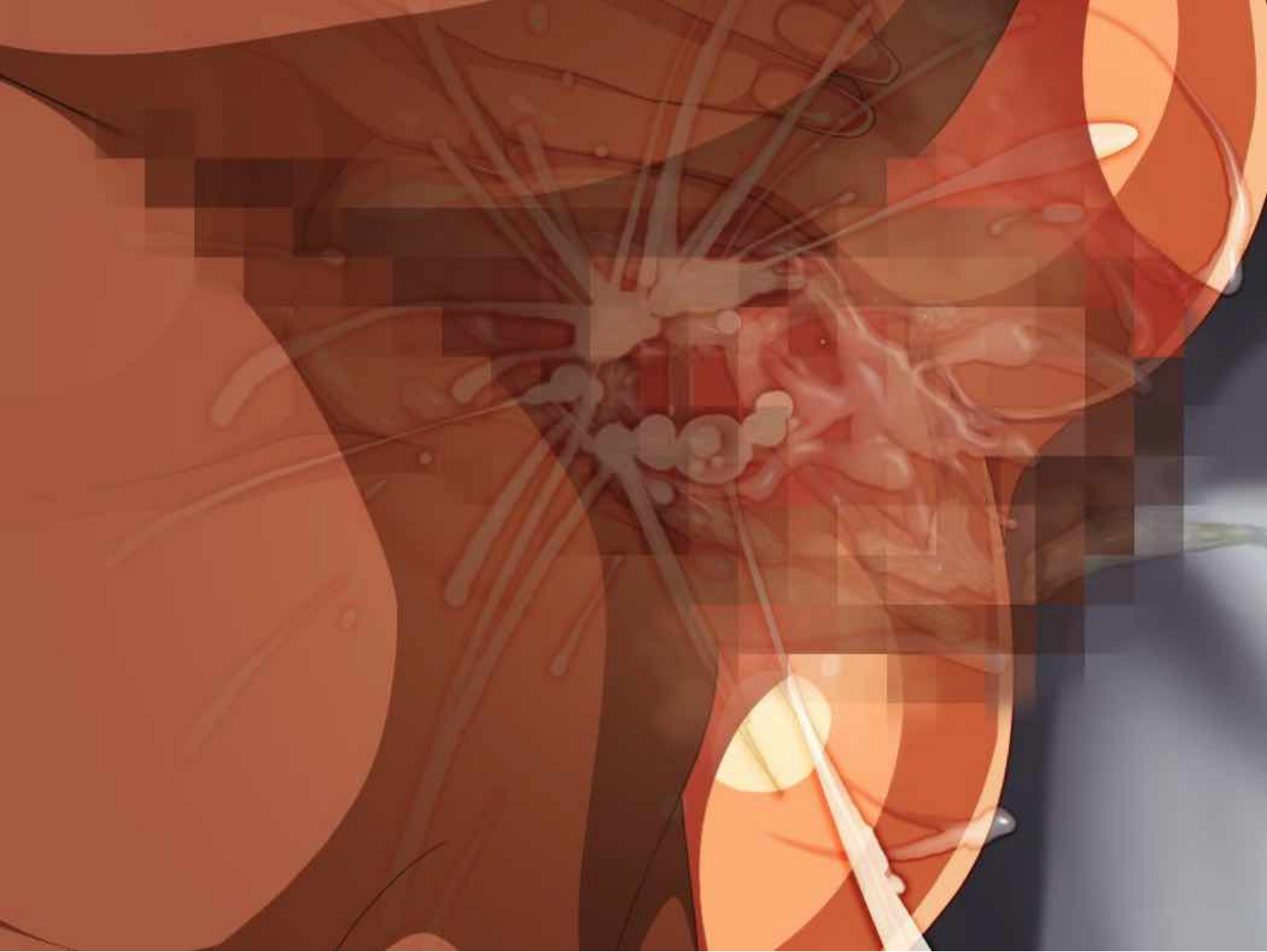


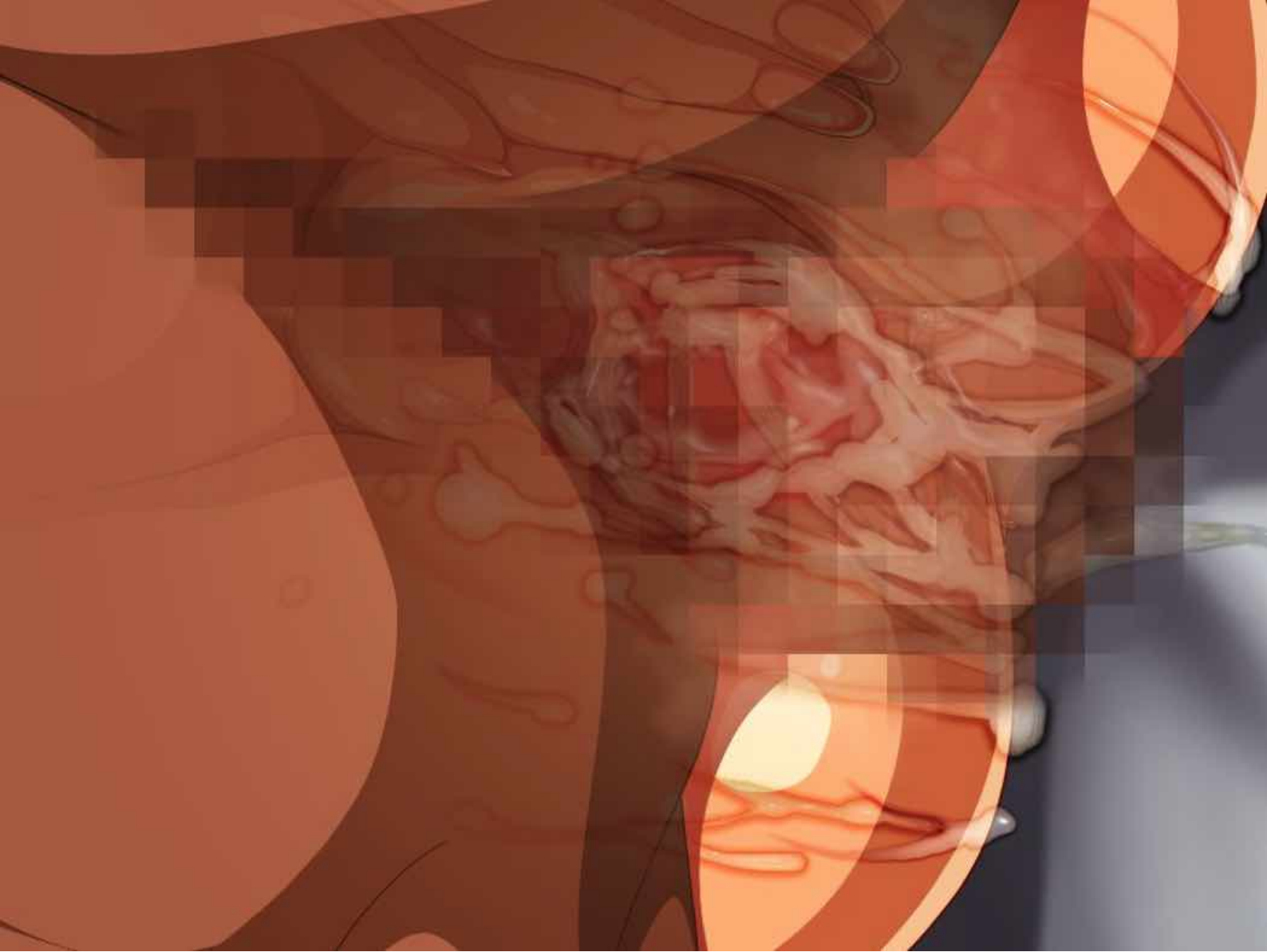








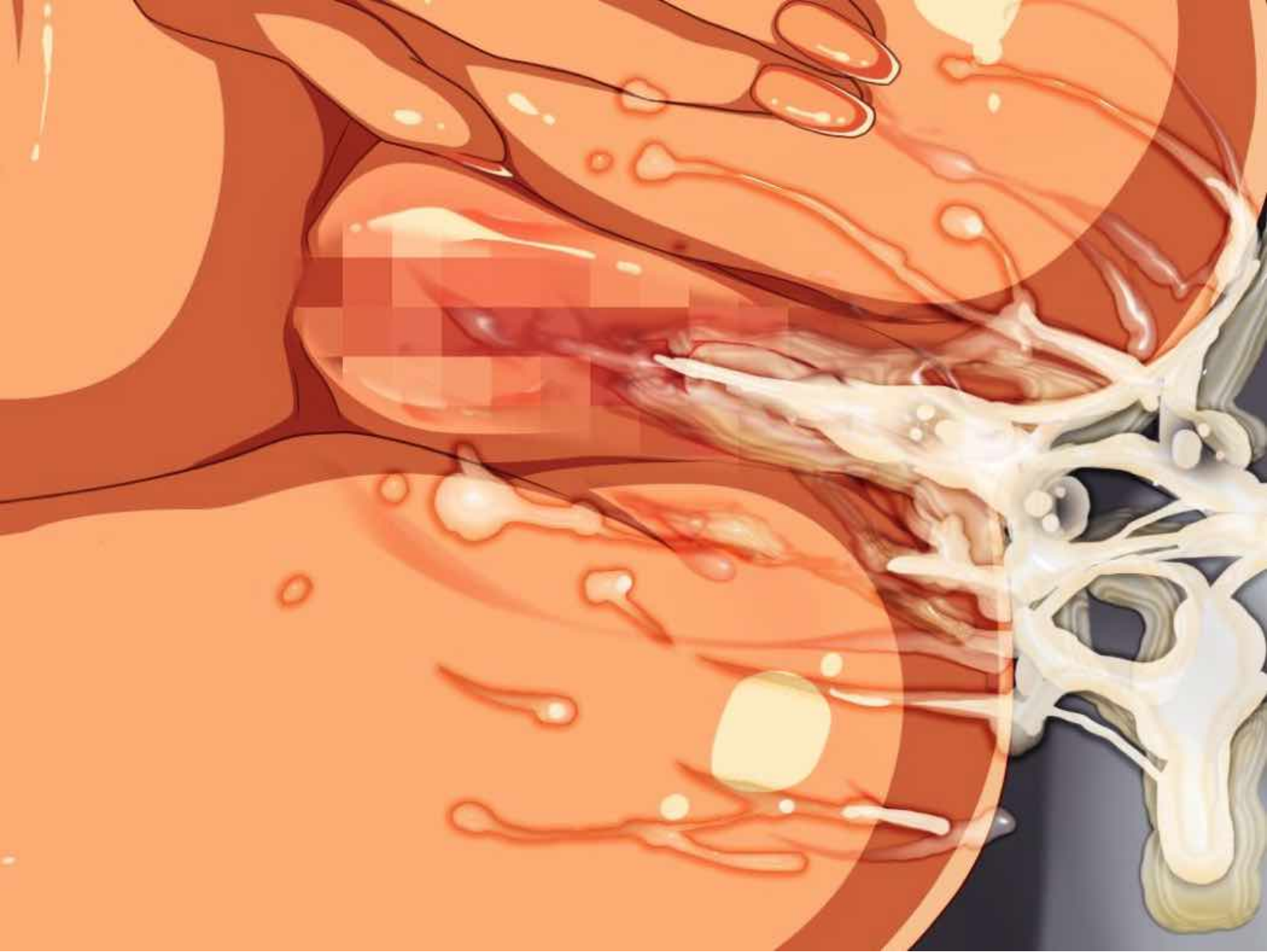


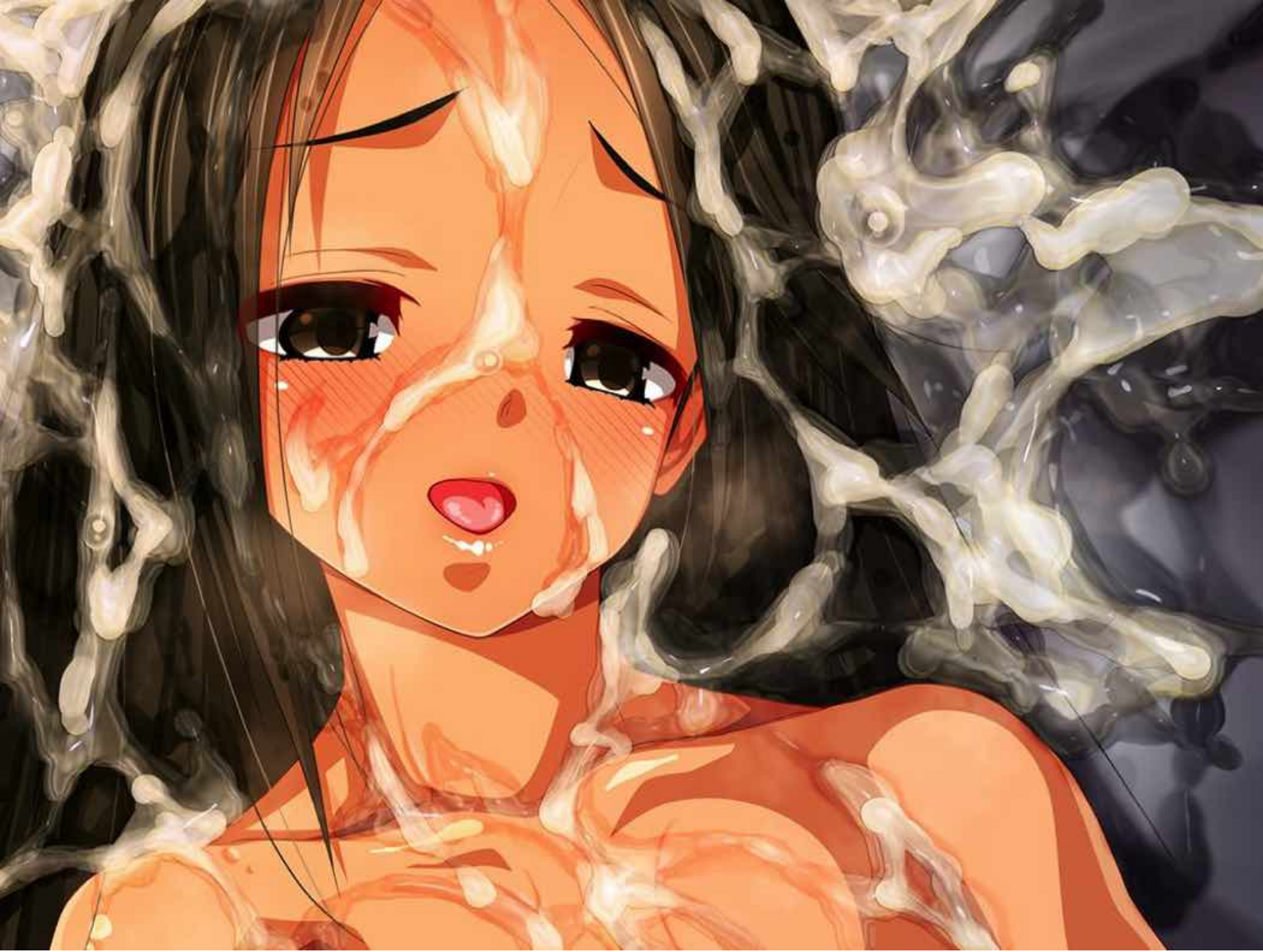


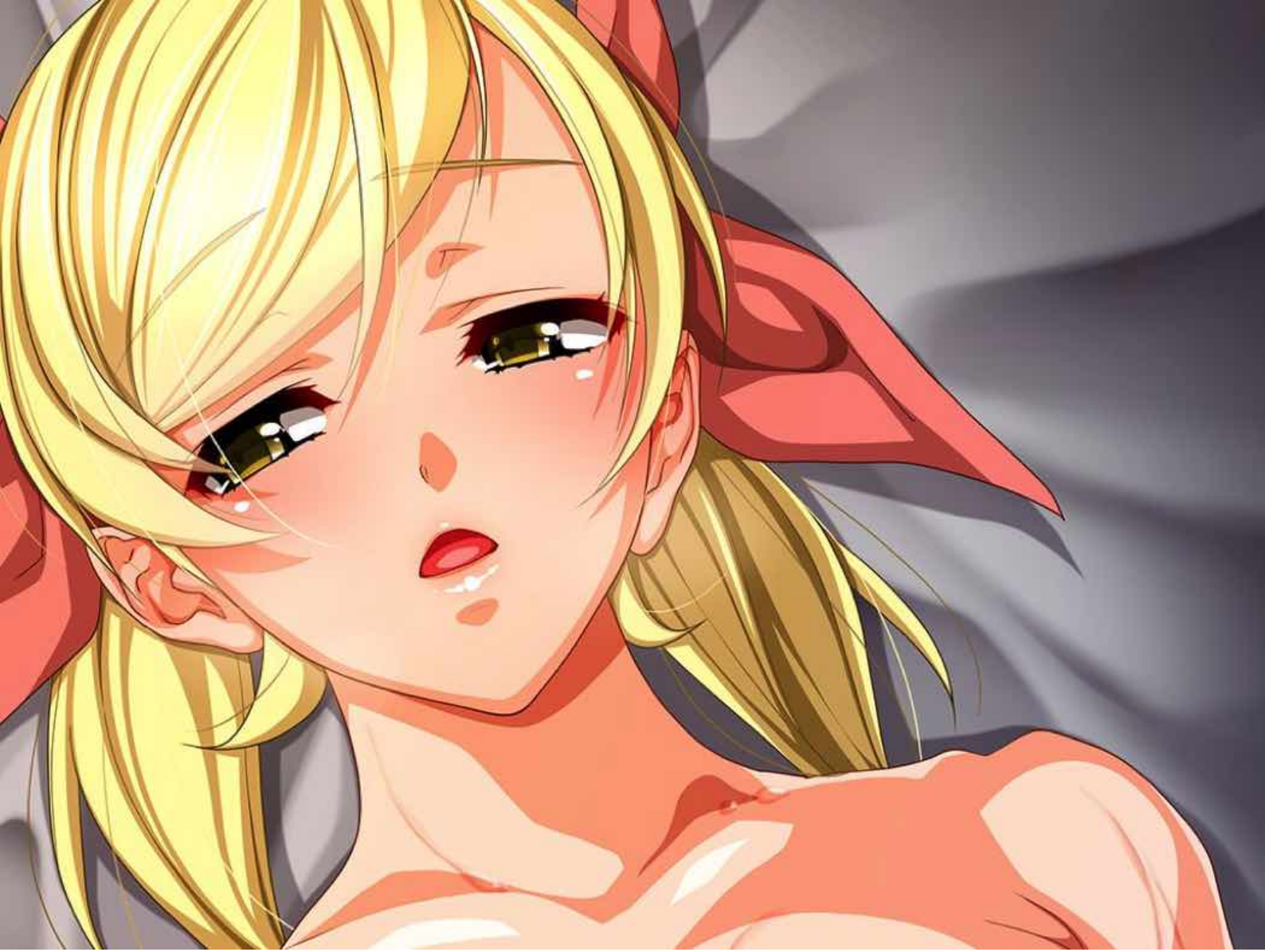


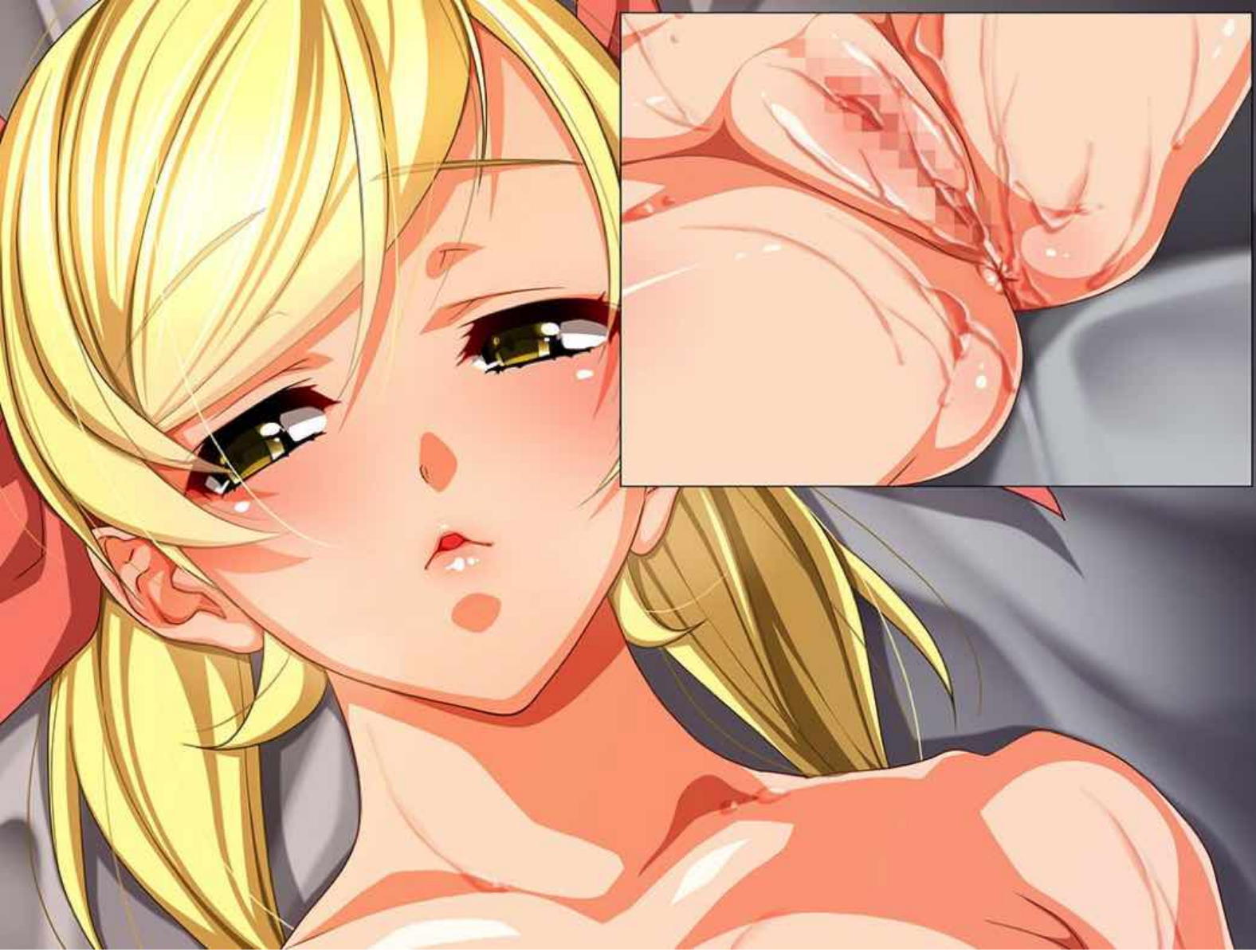


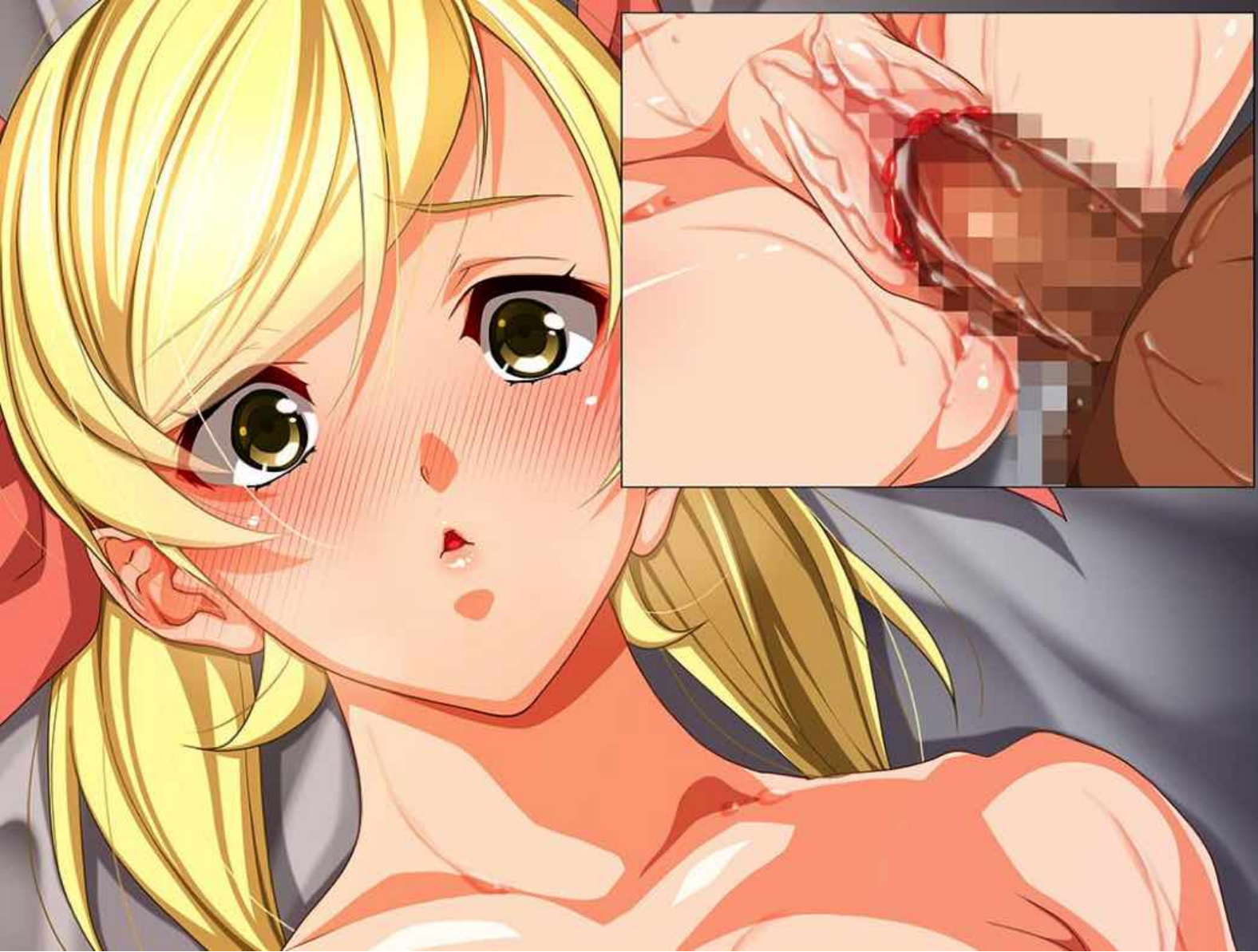
















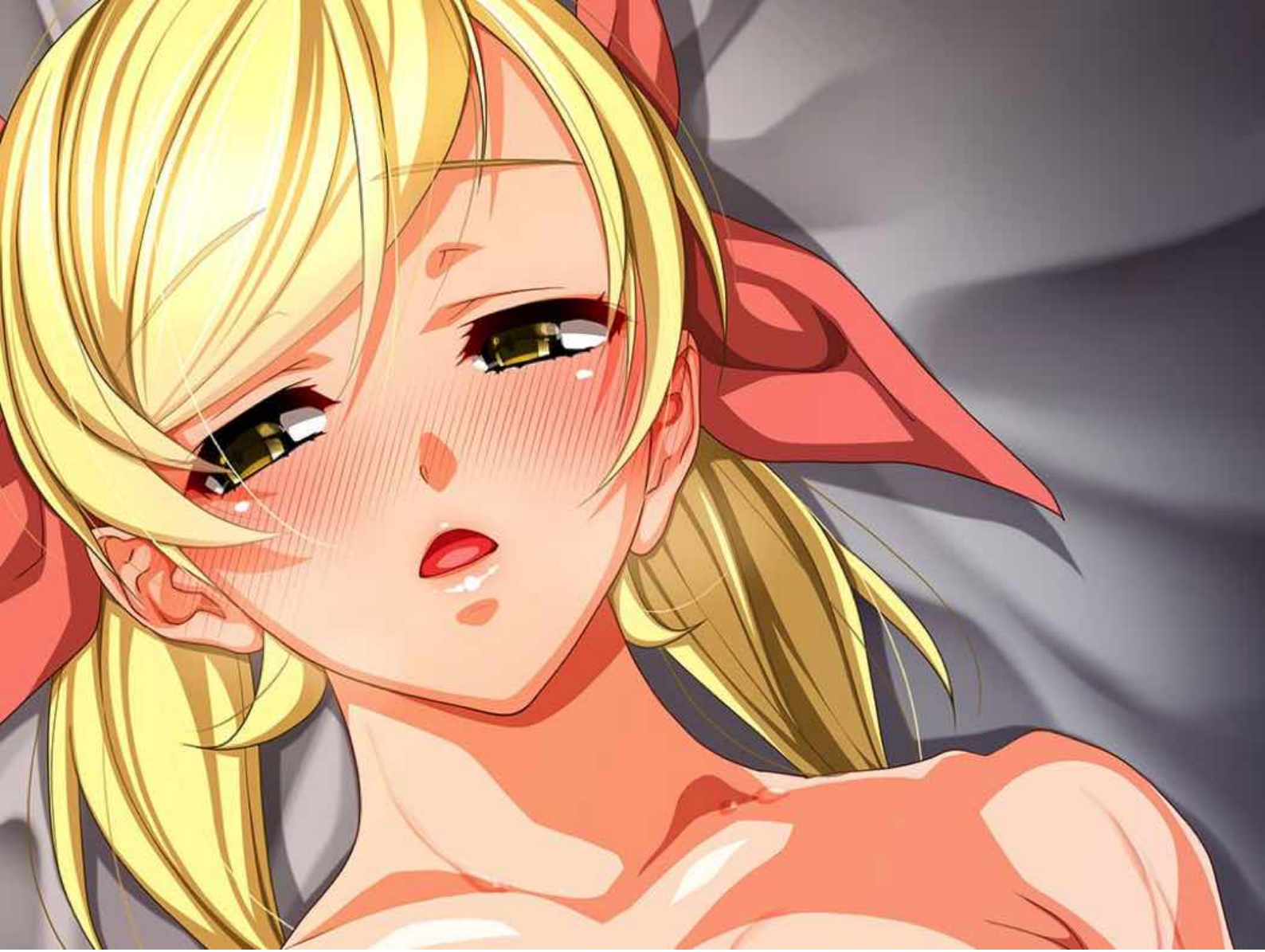














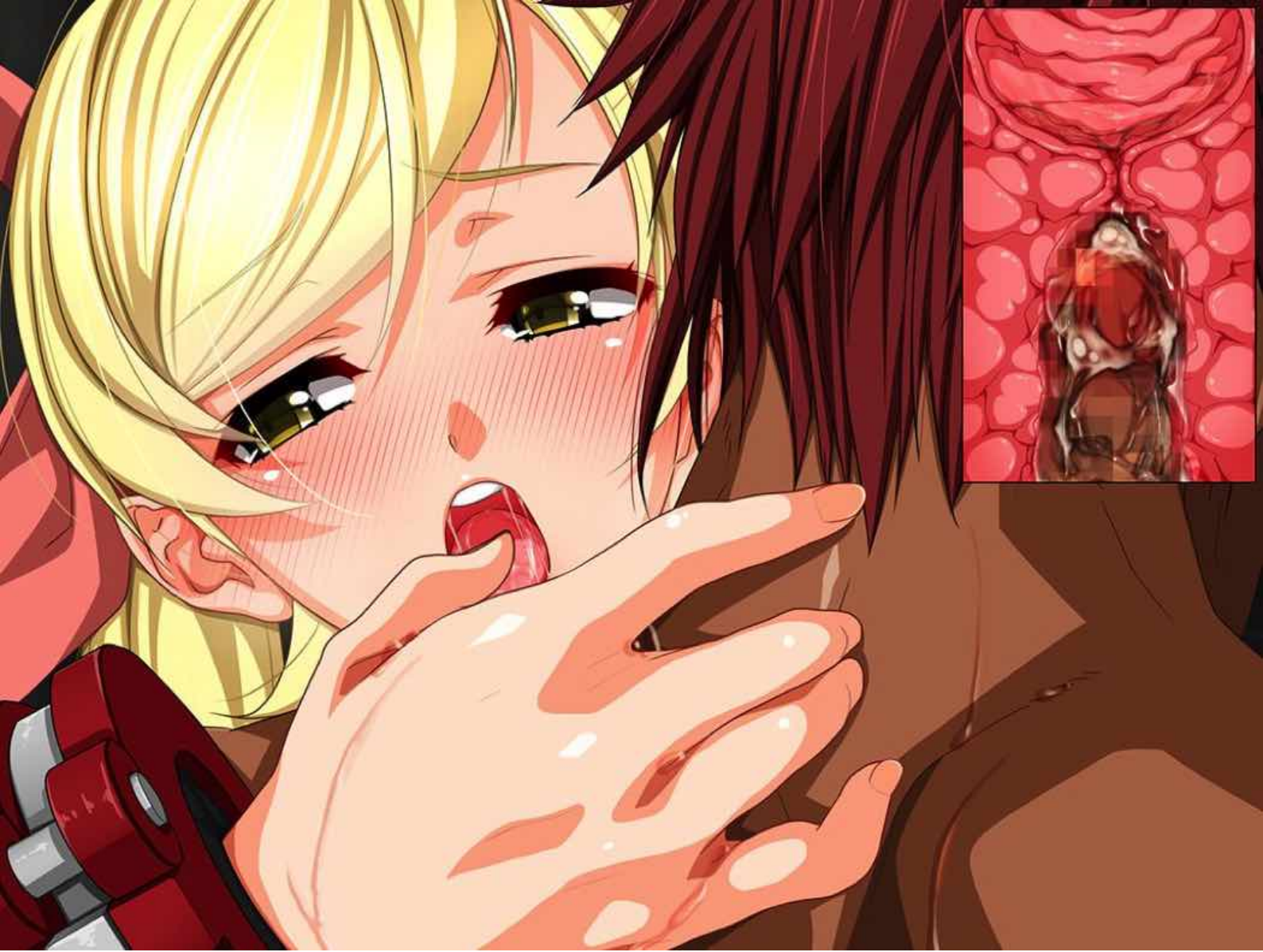




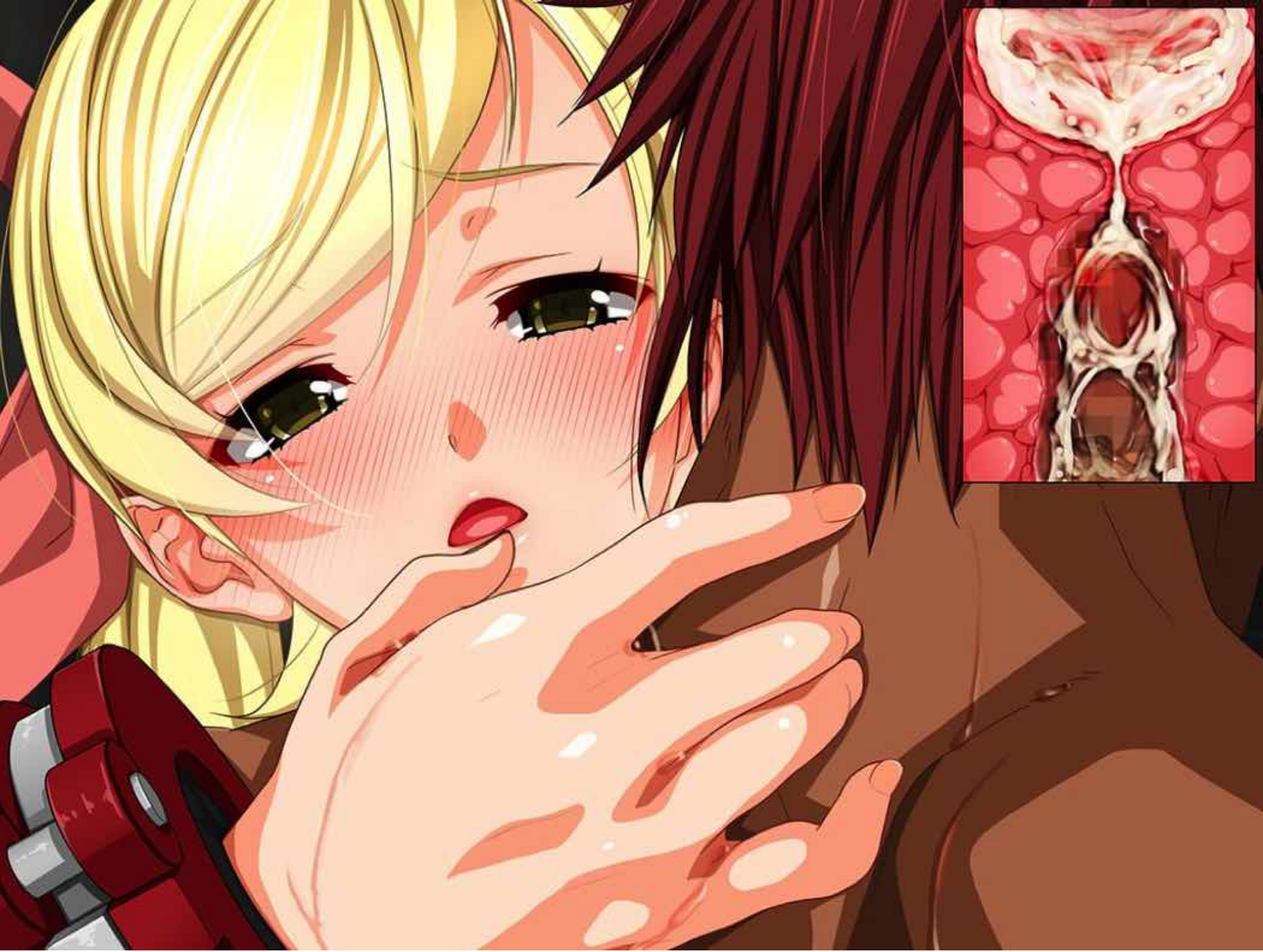














































































































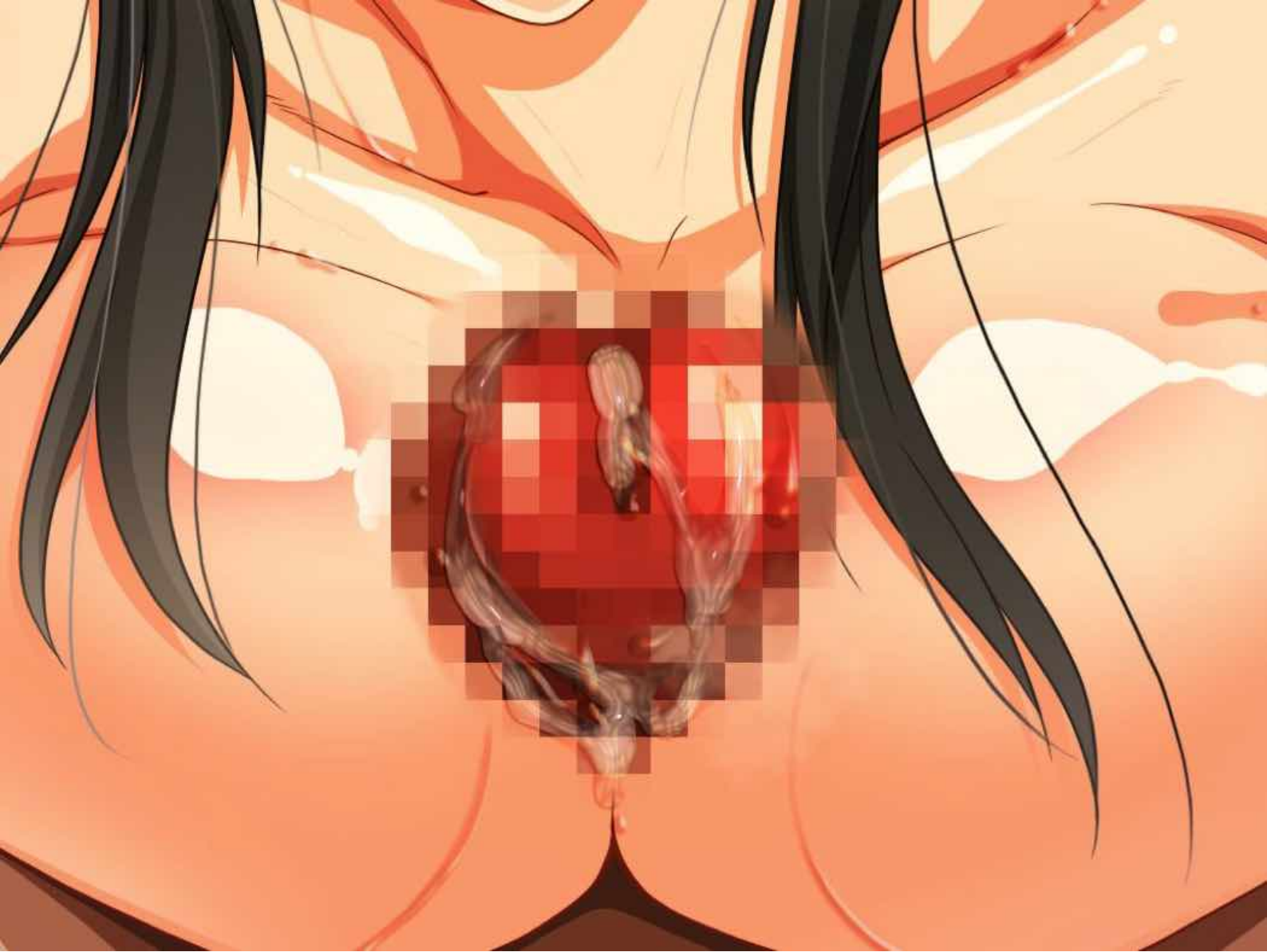




















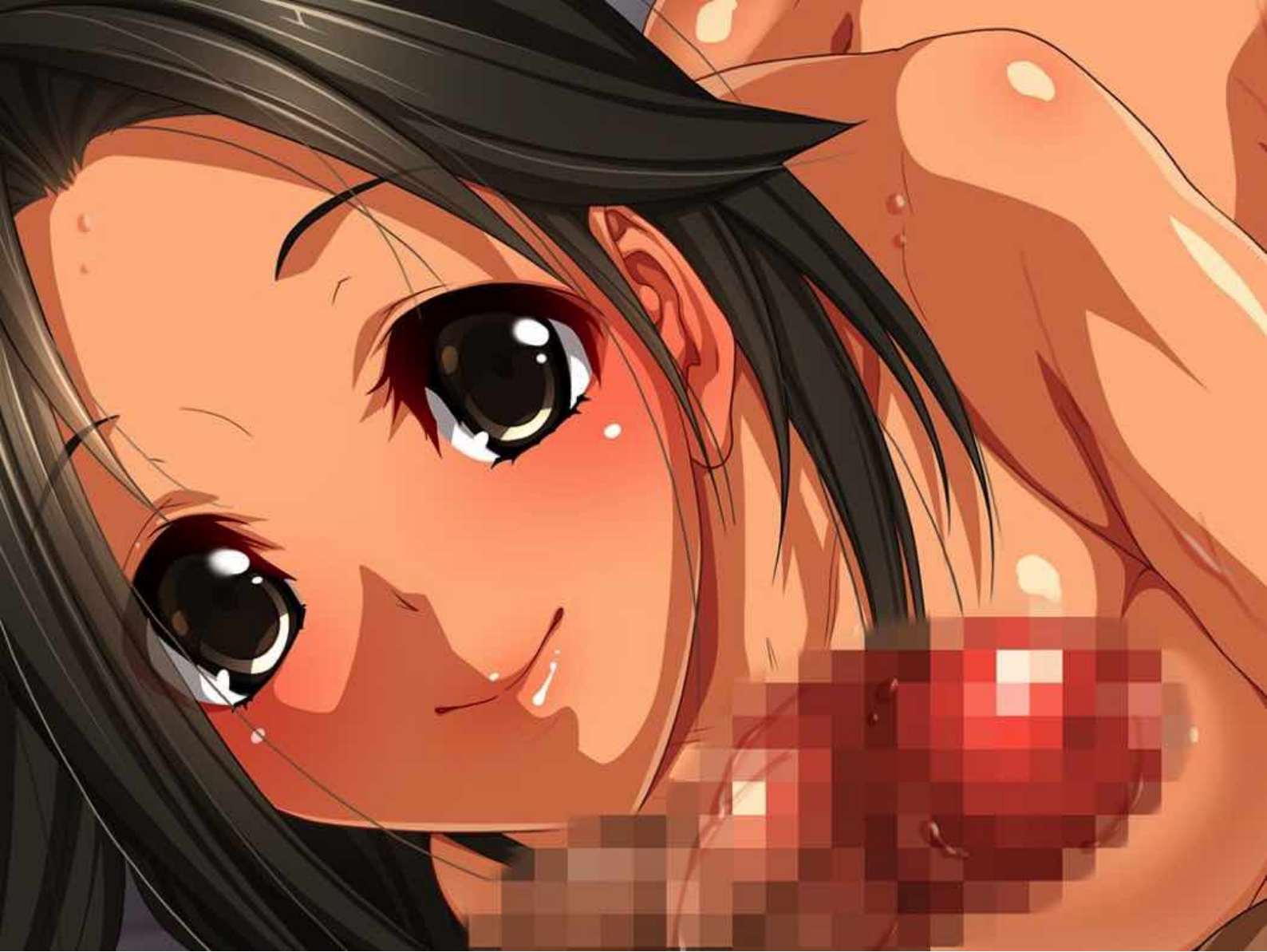












































































































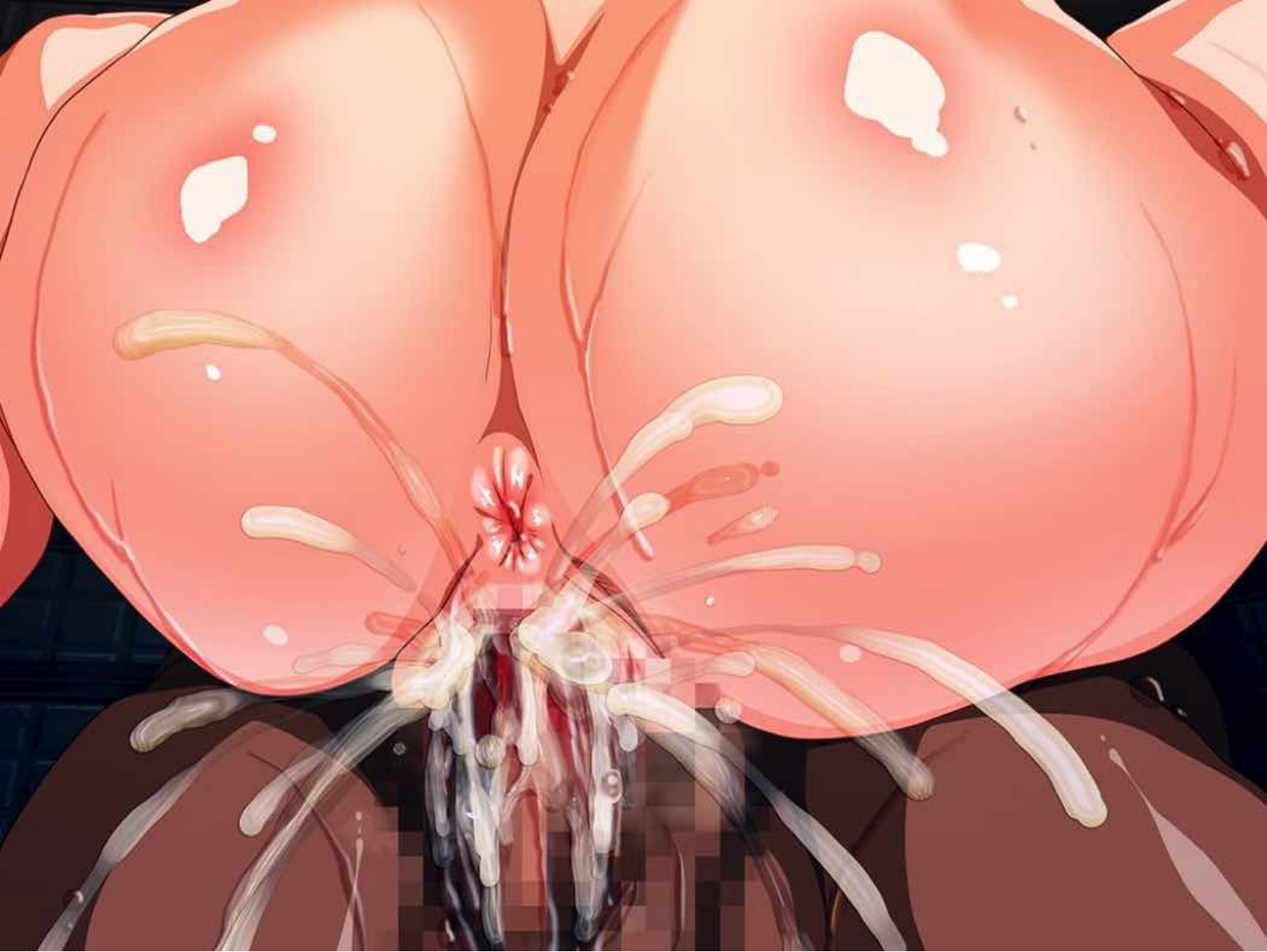














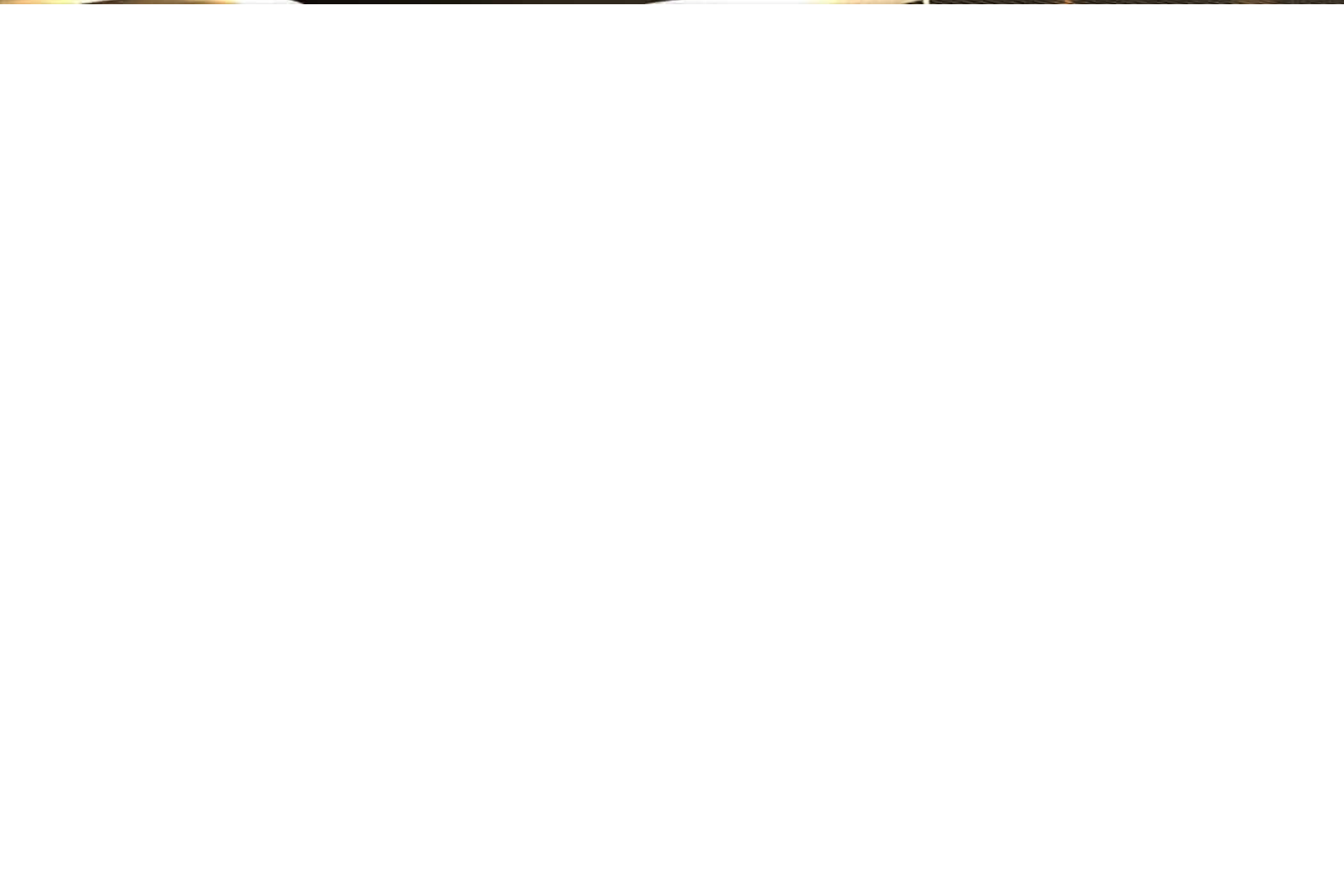






あれからも生で種付けを繰り返し見事に三人とも腹ホテとなった。

父親は誰だ！と支部で問題となるも、
彼女達は沈黙を守り通した。





結局うやむやのまま時は流れ、
三人とも安定期に入った頃。



女達に誘われた俺は久々にヤリ部屋へ訪れ、
勃起全開で全裸となる。



レイラとカリーナにもねだられ、
ボテ腹乳達を前に滾った俺は……。

「アァン。久々のオチ●ポ……オッパイ疼いちゃう」
咬くマリア。

「わたくしのオマ●コもですっ」
早くナマハメしてくたさいっ」

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

アッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ



羨まじげな二人。
次は、より美直にねだったレイラに挿入してやる。

おはは

あ

「アア、オチ●ポ羨ましい……」
「わたくしもナマハメしてえっ」

う

う

ポテ腹ながら種付けプレスで奥まで犯され敏感に喘ぐカリーナ。



おはは

おはは

おはは

「アヒイッ！ 久々のオチ●ポツ、ナマハメ最高ですっ！」

たゆん

おはは

おはは

おはは



おはは





俺はあえてマリアには挿入せず、
レイラとカリーナを交互に犯す。

「わたしもボテ腹オナホとして使われてアクメしちゃいますっ」

「アンツァンツ、わたくし今日も
ナマオチ●ポに屈服しますっ」

そしてマリアに見せつけ射精開始。



ブルブル

ブルブル

ハハハ

ハハハ

ハハハ

ハハハ

ハハハ

ハハハ



「ママ、ホテ顔なのにナマナカ出じでアクメしてあんなでよ」

腹ホテ生オナホたちの絶頂アへ胸にマリアの発情もピークのようだ

はへええっ！ 孕み子宮がまたサーメン湧けですっ！

アヒイイッー ホテ顔なのに種付けてイクウウッ！！



「アハッ。二人はまだ出ないでしょ。ミルクパイズリ味わってえ」

ブルブル...

たっ

チン

ん

ぬん

お

すると母乳がフシャツとしぶき、肉棒を熱くぬめらせてゆく。



マリアはお掃除フェラで白濁を舐め取ると爆乳を亀頭へ押しつける。

「オッパイもいいけどオマ●コにもナカ出しザーメンほしいのお」

爆乳で特濃精液を受け止めるマリアだが、まだ物足りなさそうだった。

「んハアアッ、オッパイあつい、オナホ乳マ●コイウウッッ！」

プシャプシャと母乳がしぶく極上乳マ●コに
たまらず再び射精する。





肉玩具となり悶え喘ぐマリアに、
レイラとカーリーナも再び発情する。

「やっぱりナマハメ最高なわっ、芋みオナホをもっと使ってえっ」

「ソファアスリートやっとなチ●ボきた、もっとなホスホしてえっ。
待ちわびたナマ挿入に、ドロドロの牝穴で食い締めてくるマリア。」

ようやく積極的に欲しがり出したマリアへナマ肉棒をくれてやる。

んっ

んっ

んっ

んっ

すっ
すっ
すっ
すっ

んっ

んっ

んっ

んっ



理付けをねたり収納するスケヘ穴に、容赦なく精液をくれてやる。

「そろそろ、私はカレ専用オナホ穴。遠慮せずガイメン吐き捨ててえ」

発情した二人に運らに蔑まれてもむしろマリアは恍惚としている。

「マリアさんはみんなの憧れの爆乳ゲーメン専用器ですうっ」

「すごいマリア。やはりあなたは尊敬すべき発情オナホねっ」





膣内射精でアクメを繰り返すマリアを嬉しそうに見つめる二人。
俺はマリアの膣穴から肉棒を引き抜き三人まとめて狙いを定める。

「これでマリアも種付け便器ね」
「みんなでカレのオナホですよ」

ドビュドビュと白濁を注ぎ込まれ、
歓喜の嬌声を響かせるマリア。

「イビイヤー！ イクイクツ、ホテ腰なのに種付けでイクツ！」

ハハハハ
ハハハハ

ハハハハ
ハハハハ

イクイク
イクイク



イクイク
イクイク

